

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分
 【発行日】平成 19 年 11 月 22 日 (2007.11.22)

【公表番号】特表 2003-511892(P2003-511892A)
 【公表日】平成 15 年 3 月 25 日 (2003.3.25)
 【出願番号】特願 2001-529093(P2001-529093)
 【国際特許分類】

H 0 4 Q 7/36 (2006.01)
H 0 4 B 7/26 (2006.01)
H 0 4 Q 7/38 (2006.01)
H 0 4 J 13/00 (2006.01)

【 F I 】

H 0 4 B 7/26 1 0 5 D
 H 0 4 B 7/26 1 0 2
 H 0 4 B 7/26 1 0 9 M
 H 0 4 J 13/00 A

【手続補正書】
 【提出日】平成 19 年 10 月 4 日 (2007.10.4)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 1 8
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【 0 0 1 8 】

[動作]

I S - 9 5 は、8 つまでの順方向リンクおよび 8 つまでの逆方向リンクを使用して基地局 (B S) が遠隔局 (R S) と通信することを可能にすることによりデータの媒体データレート (M D R) 伝送をサポートする。さらに進歩したものは、いくぶん類似したシステムを使用してさらに高いデータレート (H D R) の伝送を可能にする。一般に、通信の品質を維持するために必要とされる最も低い可能なパワーレベルでデータが送信された場合、それは B S と R S との間でさらに効率的に通信されることができる。

【手続補正 2】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 2 1
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【 0 0 2 1 】

典型的な通信ネットワークにおいて、R S ユーザは彼等が通信している基地局に関する彼等の位置に応じて異なった無線周波数 (R F) 要求を有している。ユーザの R F 環境が悪くなると、それだけ一層、基地局が固定量のデータを伝送するために必要とするパワーが多くなる。したがって、悪い R F 環境下のユーザのほうがネットワーク容量をより多く使用する。異なった物理的位置のユーザは、たとえば、あるユーザは建造物の R F シャドウ中に入り、一方別のユーザは樹木の R F シャドウに入っている等、異なったフェーディング条件下に置かれる。これらの条件は受信される信号の強度を低下させ、その結果、受信される信号の品質はフェードが発生しなかった場合よりも低くなる。フェーディングを克服するために、送信パワーが増加されてもよい。

【手続補正 3】
 【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】 0 0 5 2

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 5 2 】

結合器630 および632 の各出力は累算器638 および640 により1つのウォルシュ記号で合計される。累算器638 および640 の各出力はパイロットフィルタ646 および648 に供給される。パイロットフィルタ646 および648 はパイロット信号データ534 (図4参照) の評価された利得および位相を決定することによってチャンネル状態の評価値を生成する。パイロットフィルタ646 の出力は複素数乗算器650 および652 において累算器642 および644 の各出力と複素数乗算される。同様に、パイロットフィルタ648 の出力は複素数乗算器654 および656 において累算器642 および644 の各出力と複素数乗算される。複素数乗算器654 の出力は結合器658 において複素数乗算器650 の出力と加算される。複素数乗算器656 の出力は結合器660 において複素数乗算器652 の出力から減算される。最後に結合器658および660 の出力は関係する復調された信号を生成するために結合器662 において結合される。

【手続補正4】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 5 3

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 5 3 】

本発明の特定の前述の詳細な説明にかかわらず、この開示の利点を知った当業者は本発明の技術的範囲を逸脱せずに異なる構成のマシンを構成できることは明らかである。同様に並列した方法が開発できる。単なる例示として、図7に示される加算素子622 のような素子の1つが合計素子626 と結合され、機能ダイアグラムの別の素子として示されることもできる。

[信号 - 伝送媒体]

例えば上記に記載された方法がマシンで読取ることのできる指令のシ - ケンスを実行するために基地局を動作することによって実行される。これらの命令は図7に示されているように種々のタイプの信号伝送媒体による。この点に関して、本発明の1実施形態はプログラムされた製品、あるいは製造品に関連し、上記記載の方法を実行するデジタル信号プロセッサによって実行可能なマシン読み出し可能な命令のプログラムを確実に実行する信号搬送媒体を含んでいる。